みんなのスペース

アヤブー(11)

Miho(?)

姫神(12)

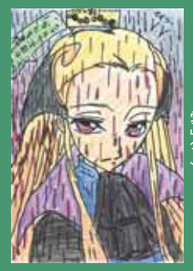
ドナルドダック(10)

月神(13)

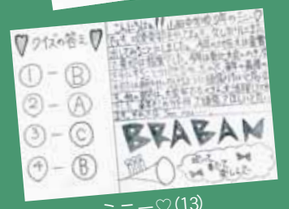
中村紘一郎(11)

ゆうき(8)

神崎(12)


「零」(12)

Yui(11)



ミニー♡(13)

湊俊樹(10)

甲斐谷聖良(7)

わたしのゆめ

とみやま はなえ ちゃん
（船越保育園・６歳）

大きくなったらケーキ屋さんになりたいです。イチゴケーキをたくさんつくりたいな。

山田よいとこ好きな町（16）

（つづき）

翌日来町したご一行を早速案内し、まずは八幡神社、次に関口長次郎家、そして大沢判官家こと箱石家を、説明を交えながらご案内申し上げた。長次郎家では、佐藤会長さんが説明しながら披露された義経の遺品の数々を、観光客の皆さんは質問されながら熱心に見て興味を示されておられた。次の大沢の箱石家では、ご主人が自ら親切に説明してくださった。特にこの家のお墓で、墓石に代々「判官」という名字が刻まれているのを知ったときの、アイヌの方々のどよめく程の感動ぶりに接したとき、わたしのこの胸まで締め付けられる思いがした。それだけ北海道のアイヌの方々は義経を恋い慕っているということであろう。

山田の義経伝説に感激し、心ゆくまで楽しんだ一行は、何度も礼を述べ、次の予定地である豊間根－宮古コースを目指して行かれた。見送った後に残されたのは、宴の後の静けさのような気分になり、あの「判官」のお墓で示したアイヌの方々のどよめきの顔が今も胸深く残り、時に触れ思い出されます。ご案内できて良かった。観客の感動を促し、自らも心良くし、また町の発展のためになることこそ、観光事業の本筋であろうと思う。

長話になったのでちょっと気分転換にだが、日本の神社で一番多い神社は、ご承知の八幡社。次が熊野神社で、約４万社あると何かの本で読んだことがある。ここ山田にもあちこちに何社かあるようですし、県内に数多いようだ。

荒巻、合田の両氏は、義経の足跡を訪ね、昭和52年からおおよそ15年もかけて京都から始めて日本全国を伝説も追って調べ、山田へ来られたのは終わりに近いほうだったが、その後も青森－北海道、そしてついに義経「ジンギスカン説」まで追ってモンゴルまでお調べに行かれているから驚きである。そして書かれたのが、お二人の著書「義経伝説推理行」である。印刷が1993年７月となっているから平成６年だろうが、早速私に１冊を普通の「謹呈」ではなく「恵存」（けいぞんとも、どうかお手元にお置きくださいの意）とした書札を添えて送ってくださった。義経に関し、すべてを記した本です。興味があるお方は、発行されていますので読んでみてください。

日本人は、その昔から義経、いわゆる「判官びいき」です。史実上の義経より、観光客は伝説の義経に引かれることでしょう。それはロマンがあるからだと深く思っています。（つづく）

ペンネーム・山田北州（山田・87歳）

エコしてみませんか

残暑お見舞い申し上げます。皆さん、地震大丈夫でしたか？平泉や洋野町では被害が大きく大変だったようですね。水があることや、食べられることのありがたさについて考えました。自分で、エコしてみませんか。わたしのエコは、レジ袋を使わずマイリュックやマイバックでの買い物、水の出しっぱなしをしないこと…。これからもやっていきたいです。

佐藤啓子（船越・？歳）

道路の補修について

織笠旧農協前の道路が10数カ所でこぼこで、自転車では避けて走っていたが、ある日車輪が穴にはまり危ない思いをしました。自転車乗りはわたしだけではないと思い役場にそのことを伝えましたら、１週間後には舗装が直り、歩行者もつまずくことなく、自転車も快適に走れるようになりました。係の方、ありがとうございました。

菊地サカエ（織笠・73歳）

花火大会募金ご協力への御礼

８月15日に開催しました「第２回山田の花火大会」は、天候にも恵まれ、盛会裏に終了することができました。

今年度は、町内の事業所など約70カ所に募金箱を設置し、町民の皆さまから約60万円もの募金をいただきました。長引く景気低迷の折、ご協力誠にありがとうございました。青年部員一同厚く御礼申し上げます。

今後とも商工会青年部の活動にご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。誠にありがとうございました。

山田町商工会青年部員一同

猫を連れてきてくださった方へ

７月３日の夜から出掛けたまま帰ってこなかったわたしの愛猫が、７月５日に帰って来ました。民家の軒下で冷たくなっていたそうで、その家の方が遺体をわたしの家まで連れてきてくださいました。その方のお名前を聞くのを忘れていたので、この場を借りてお礼を述べさせていただきます。うちのこたろうがご迷惑をお掛けしました。わざわざ連れてきてくださってありがとうございました。

ペンネーム・ナナちゃんのママ（長崎・？歳）

交通死亡事故ゼロの継続を

８月19日、町内の交通死亡事故０が１年間を達成し、８月21日に県警本部から町民に対し賞賛状が授与されました。

これは、山田町交通安全対策協議会を軸に、交通指導隊や安全協会、交通安全母の会などの関係する団体、さらには宮古警察署山田交番の協力の下に一丸となって交通安全運動を推進してきたことが実を結んだものだと思います。

このような実績は過去にも何度もありましたが、気の緩みからか、記録が途切れることもありました。「勝って兜の緒を締めよ」――。かつては３年余の実績があるのですから、今回の賞賛状の授与をスタートとして、町内からあの悲惨な死亡事故は絶対に出さないようより一層の精進を重ね、１日も長く継続することを望んでいます。また、町内の交通事故を１件でも少なくするよう、来る９月21日から始まる秋の全国交通安全運動は町民こぞって盛り上げ、事故の無い期間にしたいものです。

西舘隆（船越・？歳）

やまだ文芸広場

友の母天寿全う１０２歳
菩薩となりてかくも尊し
大川ヒメ子（大沢・64歳）

ふる里にやっとお帰り善幸さん
佐藤兼男（荒川・82歳）

盆過ぎし感謝の気持ち忘れずに
暮せんとして風も涼しく
大町テイ子（大沢・？歳）

とし老いし一人ぐらしは人恋いし
山田閑悟（山田・87歳）

◆**投稿規定**　▷住所、氏名、年齢、電話番号を明記。ペンネーム、匿名での掲載を希望する方はその旨をさらに付け加えてください▷住所、氏名が記入されていないものは掲載しません▷営利・政治的活動を目的としたものや、特定の個人・団体をひぼう・中傷するものは掲載できません▷投書を添削することがあります。
◆**あて先**　〒028－1392（住所不要）山田町役場総務課情報管理担当へ。